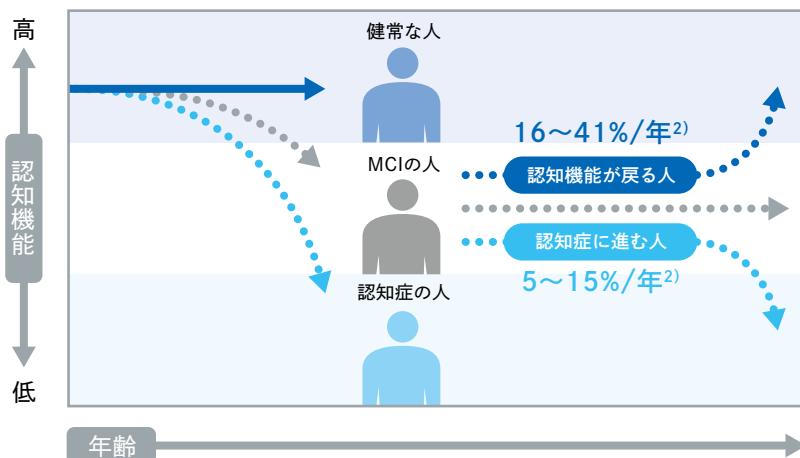


## 軽度認知障害(MCI)とは？

軽度認知障害は「脳の機能が健常な状態」と「認知症」の中間の段階で、**MCI (Mild Cognitive Impairment)** とも呼ばれます。記憶や判断などを行う脳の機能（認知機能）がいくらか低下しているものの、自立した日常生活を過ごせる状態を指します。MCIの状態からさらに認知機能が低下し、日常生活に支障をきたし介護が必要な状態になると、認知症と診断されます。

しかし、必ずしもMCIの人が認知症に進むわけではありません。MCIの原因によっては現状が保たれたり、回復したりすることもあります。



2) 日本神経学会 監修: 認知症疾患診療ガイドライン2017(医学書院)2017;p147より作成

## 軽度認知障害(MCI)の原因

MCIの原因は、脳の病気だけでなく、体の病気や精神的なストレスの場合もあります。

MCIから認知症に進みやすい原因の1つとして、アルツハイマー病が挙げられます。

MCIの原因はさまざまなので、原因を早期に発見して、MCIから認知症へ進行しないように適切な対策を行うことが重要です。



日本神経学会 監修: 認知症疾患診療ガイドライン2017(医学書院)2017;p6  
Alzheimer's Society. Factsheet 470LP June 2019  
<https://www.alzheimers.org.uk/sites/default/files/2019-09/470lp-what-is-mild-cognitive-impairment-mci-190521.pdf> (2023年6月9日閲覧)より作成

## アルツハイマー病とは？

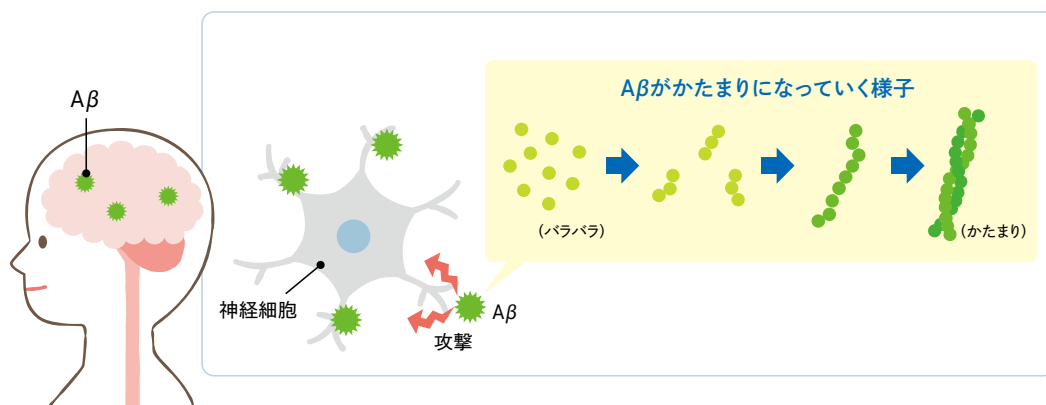
アルツハイマー病は、脳におけるアミロイド $\beta$  ( $A\beta$ ) と呼ばれるタンパク質の異常な蓄積によって引き起こされると考えられています。正常な状態では、 $A\beta$ は産生されてもバラバラのまま脳から取り除かれますが、アルツハイマー病の人ではかたまりを作って脳の中にたまります。このかたまりが神経細胞を障害することで、神経細胞のはたらきが落ち、数が減って、脳の萎縮が進むとされています。

また、歳をとると脳の中でタウというタンパク質も異常になって神経細胞を障害しますが、 $A\beta$ の蓄積はタウの異常を促進するといわれています。

$A\beta$ は、アルツハイマー病が認知機能低下を引き起こす10～20年以上前からたまり始めることが知られています<sup>3)</sup>。

3) Hampel H, et al. : Mol Psychiatry 2021; 26(10) : 5481-5503

(イメージ図)

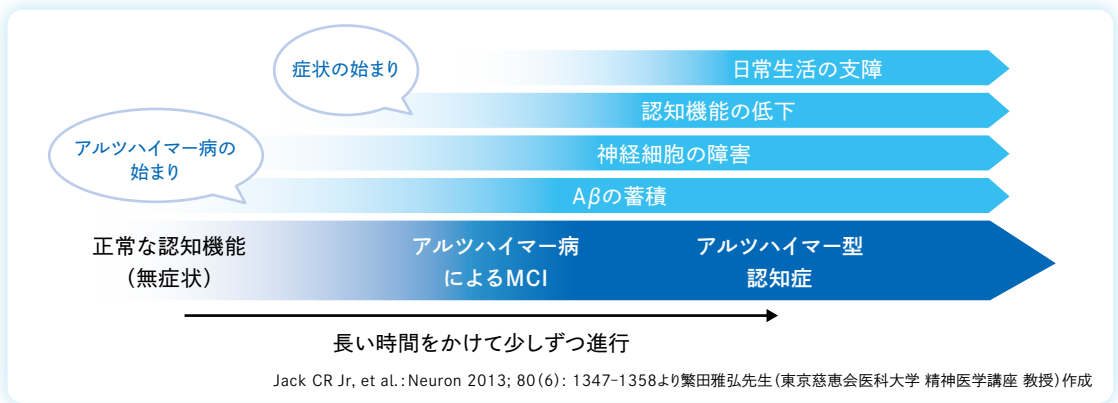


# アルツハイマー病とは？

## アルツハイマー病の進行について

アルツハイマー病は長い時間をかけて少しずつ進行していきます。

Aβの蓄積が始まる頃は、認知機能は正常で症状ありませんが、Aβが多くなると、神経細胞が障害されて認知機能が低下していきます。軽いもの忘れなどの症状があらわれるMCIの状態から、日常生活に支障をきたすアルツハイマー型認知症へだんだんと進行します。



## アルツハイマー病によるMCIとは

アルツハイマー病によるMCIは、アルツハイマー型認知症になる一歩手前の段階です。症状は記憶障害が中心で、以前に比べてもの忘れが目立ってきます。

また記憶以外にも、以前よりぼーっとしていることが増えた、料理の味付けが変わった、計算ミスが増えたなどの症状がみられることもあります。



## アルツハイマー型認知症への進行

アルツハイマー病によるMCIは、買い物や家事など少し複雑な動作(手段的ADL<sup>※</sup>)が難しくなるものの、自立した生活を送れる状態です。さらに認知機能が低下してアルツハイマー型認知症に進行すると、食事や会話、歩くことなど生活に必要な動作(基本的ADL)が徐々にできなくなり、生活が困難で介護が必要な状態になります。

アルツハイマー病によるMCIは、通常は数年でアルツハイマー型認知症になるといわれていますが、早期に対策を行うことで、認知症への進行を遅らせることができる可能性があります。MCIの段階での早期発見が、認知症の発症予防に重要なのです。

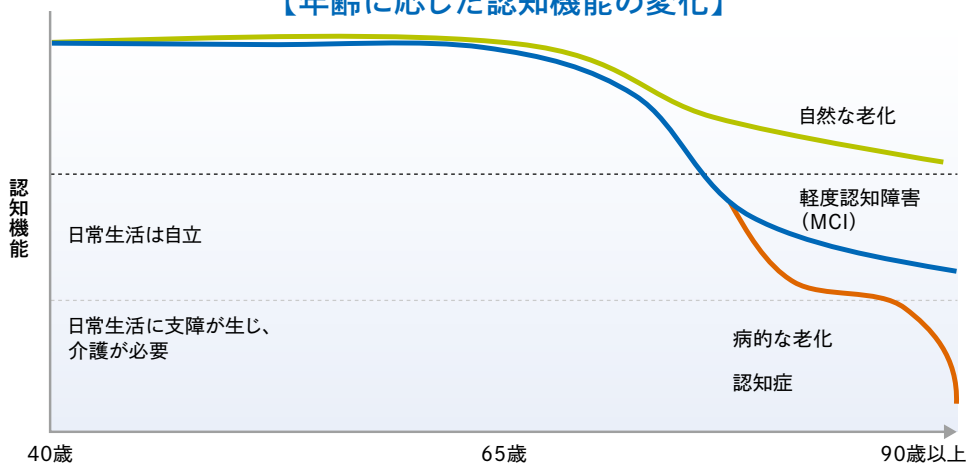
※ADL (Activities of Daily Living) : 生活に必要な動作

### 【アルツハイマー病によるMCIと認知症のちがい】

	アルツハイマー病によるMCI	アルツハイマー型認知症
ADLの障害		
基本的ADL(食事や入浴、トイレ、着替えといった最低限必要となる動作)	正常	障害あり
手段的ADL(買い物や家事、金銭管理など何かをするための少々複雑な動作)	一部障害あり	障害あり
発症後の経過	適切な治療介入ができれば、認知症の発症を遅らせられる可能性がある	症状の進行を遅らせることはできるが、完全に治すことはできない

川畑信也:臨床医のための医学からみた認知症診療 医療からみる認知症診療-診断編(中外医学社)2019;p63より  
 繁田雅弘先生(東京慈恵会医科大学 精神医学講座 教授)作成

### 【年齢に応じた認知機能の変化】



Forlenza OV, et al.: BMC Med 2010;8:89より作成